

2022年2月7日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報部

カネカ生分解性ポリマーGreen Planet®の大型能力増強を決定

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：田中 稔）は「カネカ生分解性ポリマーGreen Planet®」（以下、Green Planet）の大型能力増強を決定しました。

プラスチックによる環境汚染が大きな問題となっています。世界的に Single Use プラスチックは使用禁止となっており、日本でも本年4月から施行されるプラスチック資源循環促進法により使い捨てプラスチックの削減が義務化されます。Green Planet は生分解性に加えて、汎用プラスチックと同様の機能を有するため、使い捨てプラスチックによる環境破壊に対する画期的なソリューションを提供できる素材です。

Green Planet（化学名は PHBH）は植物油を原料に微生物によって生産されるバイオマスポリマーで、土壌中に加え海水中でも容易に分解し、CO₂ と水に戻り環境を汚染することがありません。開発に着手した30年前は奇跡のポリマーと呼ばれましたが、工業規模での生産は Dream でしかありませんでした。しかし革新的な培養技術の開発により事業化に向けた Vision が明確になり、更に配合・成形技術が大幅に進化したことで、社会実装が Real となりました。発酵・培養からポリマー生産に関わる幅広いコア技術を有する当社だからこそ実現できたと考えます。

Green Planet で代替可能な使い捨ての汎用プラスチック製品は世界で約2,500万トン/年と推定しています。既に実使用が開始されているストロー、カトラリー、コーヒーカプセル、袋、フィルム等だけでも500万トン/年を超える規模です。環境意識の高いブランドホルダーからの引き合いが急増しており、供給能力の増強を求められています。

今回の新增設をスタートとして、地産地消の方針の下、需要が広がる欧米での増設を順次進める計画です。Green Planet は数十万トン規模の事業ポテンシャルを有しており、当社の新たな事業ポートフォリオの核となると考えられます。

Green Planet が使われる用途は多岐に渡り、今後も益々拡大していくと考えられます。そのために本設備は技術開発途上の実証プラントと位置付けており、更なる新製品開発、プロセス革新による生産性の向上やコストダウンを進め、次期増設に活かしていく計画です。

（設備投資の概要）

- 立地：当社高砂工業所内
- 投資額：約150億円
- 生産能力：15,000トン/年（既存設備5,000トン/年と合わせ年20,000トン/年）
- 稼働予定：2024年1月

当社は ESG を経営の重点施策と定め、「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”」を経営目標として取り組んでおります。Green Planet への積極的な投資は当社の ESG 経営への強いコミットメントを具現化するものです。持続可能な循環型社会の構築とプラスチック汚染問題の解決に取り組んでまいります。

以上



Green Planet 製品例